

FUJICOLOR
PRO800

1. 特長及び用途

フジカラーPRO800は、ISO 800感度を有する高感度ネガフィルムで、ポートレート、ウェディング、ファッション写真分野で特に有用です。新開発の第4の感色層技術および最新のFINE-（ファイン・シグマ）技術の導入により、鮮やかで忠実な色再現、ハイ・シャープネスと共に粒状感を感じさせない滑らかな質感描写を実現しました。また、広いラチチュードと良好なグレー再現を誇ります。

特長	結果
高感度	ISO 800の高感度により、光量の少ない状況でも確実な撮影を約束
忠実な肌色再現	光量の少ない暗いシチュエーションでも自然で忠実な肌色を再現 フラットなライティングでの自然な肌色再現
寛容度の大きい光源適性	第4の感色層導入による自然光、蛍光灯、タングステン光等の複雑なミックス光源下でもフォトグラファ어의イメージ通りにシーンを再現
質感描写力	高感度であっても粒状感を感じさせない質感描写

2. 写真感度

光源	写真感度	使用フィルター
デーライト	ISO 800/30°	不要
タングステン電球(3200K)	ISO 250/25°*	LBB-12**

* 指定フィルターを使用した時の実効感度を示しています。

** 富士色温度変換フィルター

3. フィルムのサイズ、乳剤番号、ベース材質

サイズ		乳剤番号
ロール	120 12枚撮り(6×6)	001 ~

ベース材質 トリアセテート

4. 露光ガイド

撮影には露出計の使用をお勧めします。露出計を使用しない場合は次表を参考にしてください。

昼間・屋外

	快晴時の海岸・山・雪景色	快晴	晴	明るい曇	曇・日陰
絞り	f/22	f/16	f/16	f/11	f/8
シャッター速度(秒)	1/1000		1/500		

注 ・上の表は日の出2時間後から日没2時間前までに適用されます。

・曇、日陰などでは明暗の状態が大幅に変わるため、露出計の使用をお勧めします。

5. 各種光源での撮影方法

デーライト(昼光)

昼光下での撮影の場合、一般的にはフィルターは不要です。但し、次のような状況下での撮影には次表に示すフィルターの使用をお勧めします。

被写体の状況	フィルター
晴天時の日陰、日陰の多い風景	SC-39*
快晴の遠景、雪景色、海浜、航空機から見下ろした地上など、広範囲な風景	SC-40M*

* 富士シャープカットフィルター(紫外線吸収用)

光源の色温度が高、低いいずれかに偏っている場合は次表を参考にして色温度補正を行ってください。

被写体の状況	フィルター
色温度が高い場合 曇り日の風景・人物、快晴の日の日陰	LBA-2*
色温度が低い場合 朝、夕の太陽に照らされた風景や人物	LBB-2*

* 富士色温度変換用フィルター

注 屋外撮影または室内で太陽の影響を受ける場合の撮影で、人工光源を主光源または補助光源として併用する場合は、ブルーフラッシュバルブかストロボを使用することをお勧めします。

ストロボ

ストロボ光は昼光にちかいですので、フィルターは不要です。しかし、ストロボの種類や使用量などの要因によってはカラーバランスに影響する可能性がありますので、テスト撮影を行ってください。

フラッシュメーターの使用をお勧めしますが、下記の式により、適切な絞りを算出できます。

$$\text{絞り} = \frac{\text{ISO 800/30°の時のストロボのガイドナンバー}}{\text{ストロボから被写体までの距離(m)}}$$

またオートストロボを使用する場合は、フィルム写真感度をISO 800/30°にセットして使用してください。ストロボ撮影の場合は、被写体の周囲の反射などによって露光量が変わることがあるため、使用するストロボの使用説明書に従ってください。

フラッシュバルブ

ブルーフラッシュバルブ撮影の場合はフィルターは不要ですが、クリアフラッシュバルブ撮影の場合は富士フィルターLBB-8*を使用し、1絞り開けて撮影してください。バルブの光質はメーカーやバルブの種類により異なることがあり、光量は照明器具や採光方法によって差が生じるため、あらかじめ使用する器具で確認してください。

*富士色温度変換用フィルター

昼光色写真電球・フォトリフレクターランプ

昼光色写真電球やフォトリフレクターランプの光量は、露出計で得られた露光条件よりも低めなので、露光時間を伸ばしたり、絞りを開けて補正することをお勧めします。できる限り、テスト露光を行ってください。ランプの種類、使用時間、点灯電圧によって光量やカラーバランスが変化するため、それらを考慮して露光時間を決定してください。

タングステン電球

3200K タングステン電球を使用する場合、富士フィルターLBB-12*を使用し、1 2/3絞り開けて撮影してください。TTL測光のカメラの場合は露光量補正が不要です。

*富士色温度変換用フィルター

写真撮影用蛍光灯

写真撮影用蛍光灯による撮影にはシャッター速度を1/30～1秒の範囲で使用してください。

6. 照明器具

照明光源の光量を調節したり、光を拡散させる目的で用いられる反射傘、リフレクター、ディフューザーなどは、その材質及び反射面が変質していないことや、光源の色質を変えないものであることをあらかじめ確認してください。

7. 長時間露光時の露光補正

露光時間が1秒以上の場合は、次表のような露光量の補正が必要となります。

露光補正表

シャッター速度(秒)	1/4000～2	4	16	64
露光補正值(絞り)	不要	+ 2/3	+ 1 1/2	+ 2

露光時間1/4000～4秒でのフィルターによるカラーバランス補正は不要です。+は「絞りを開ける」

8. フィルムの取り扱い

未処理の生フィルムは全暗黒下で取り扱ってください。セーフライトは使用できません。

フィルム外箱にある有効期限内に撮影・現像処理を必ず完了してください。

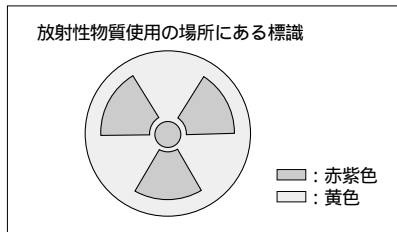
冷凍保存されたフィルムは、室温に戻して(1時間以上待って)から開封してください。温度が低いうちに開封すると、結露してフィルムが使えなくなるおそれがあります。

フィルムのカメラへの装填・取り出しは直射日光を避けて、すばやく行ってください。周囲に日陰がない場合には、太陽に背を向け、自分の陰の内で行ってください。

フィルムをカメラに装填したら、できるだけ短期間に撮影を完了し、速やかに現像処理してください。

空港の手荷物検査、及び預け入れ荷物検査時に使用されるX線はフィルムをカブラせる場合があります。露光済/未露光にかかわらず、フィルムは預け入れ荷物の中に入れて、機内持ち込み手荷物に入れ、検査時は取り出して手検査を受けてください。

病院,工場,研究室などの放射線を取り扱う場所(下記の標識のある場所)でも,フィルムがカブるおそれがあります.フィルムは放射線源から離しておいてください.



9. フィルムの保存

現像処理前

未露光,露光済を問わず現像処理前のフィルムは温度・湿度が高いほど写真感度,カラーバランス,物理的特性などに悪影響を受けます.フィルムは次のような条件で保存してください.

- 保存場所・温度:
- 冷蔵庫(温度 10℃以下)
 - 特に長期にわたる場合
冷凍庫(温度 0℃以下)

開封済みのフィルムはポリエチレンやビニールなどの袋に入れ密封してください.

現像処理後

光及び高温・高湿は処理後のフィルムを変退色させる原因になります.従って,処理済フィルムはネガシートやビニール袋に入れて,通気性の良い乾燥した冷暗所に,次のような条件で保存してください.

推奨温湿度:

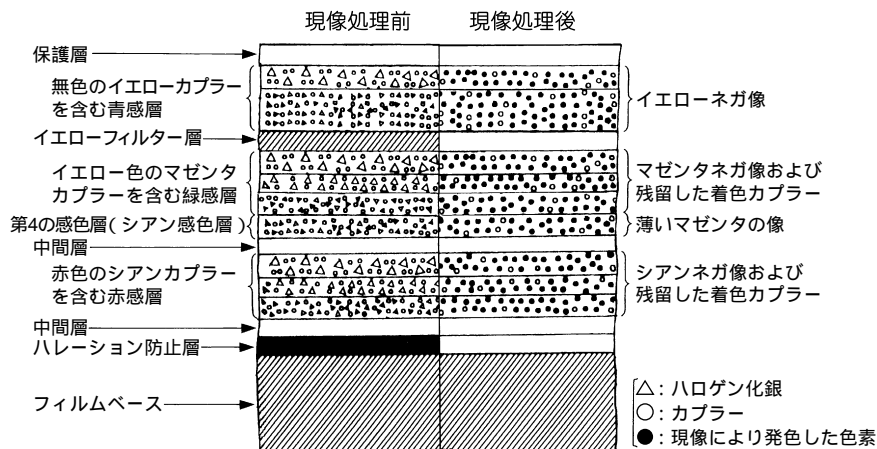
- 温度 25℃以下, 相対湿度 30 ~ 60%の範囲
- 特に長期にわたる場合
温度 10℃以下, 相対湿度 30 ~ 50%の範囲

注 このカラーフィルムの色素は,他の色素と同様に年月の経過により変化します.

10. 現像処理

このフィルムの現像処理にはフジカラーネガティブフィルムプロセスCN-16/CN-16Xを使用してください.またC-41処理でも現像することができます.

11. 層構成



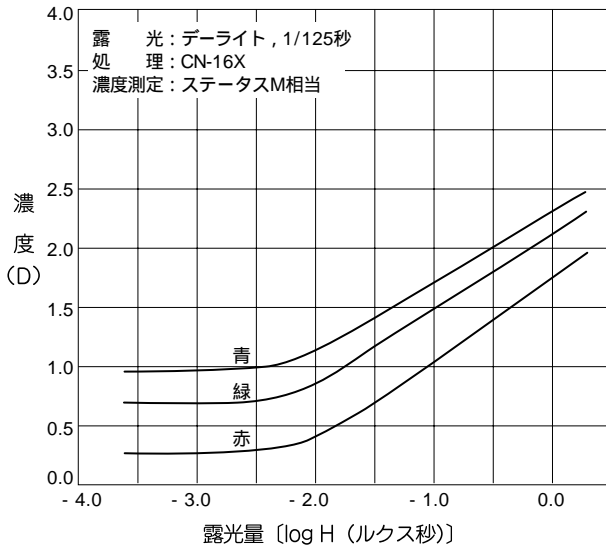
12. 拡散 RMS 粒状度5

マイクロ濃度計の測定アパーチャー: 48 μm
試料の濃度: 最小濃度 + 1.0

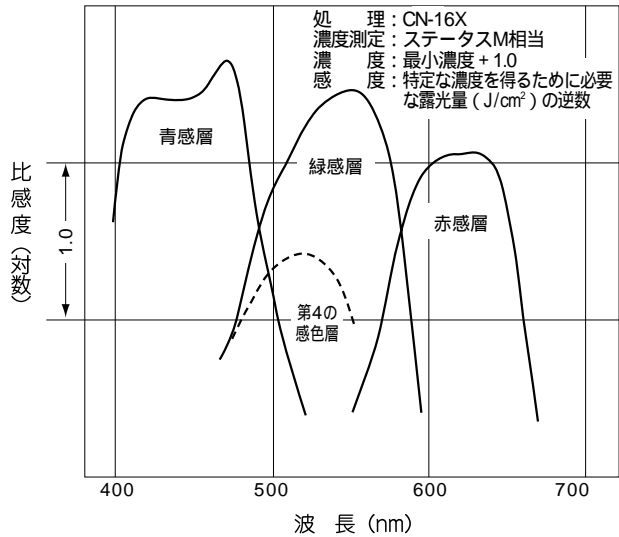
13. 解像力

チャートのコントラスト 1.6 : 1 50本/mm
チャートのコントラスト 1000 : 1 115本/mm

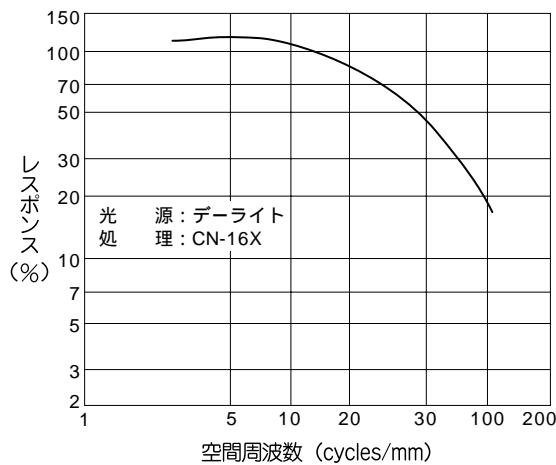
14. 特性曲線



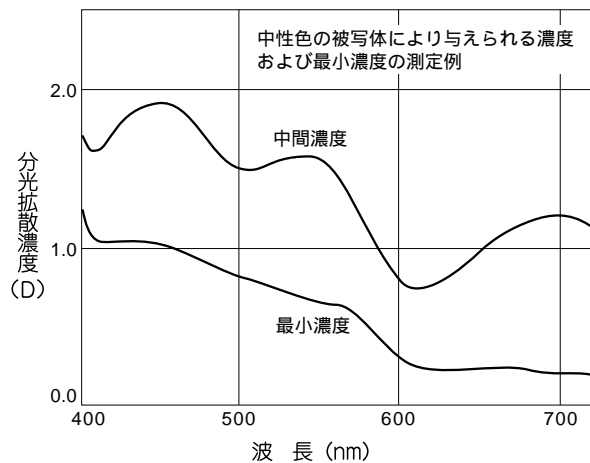
15. 分光感度曲線



16. MTF 曲線



17. 色素の分光濃度曲線



注 このデータシートに記載されているデータ類は、当社で通常実施している試験による結果を表示するものです。当社は製品の性能を常にグレードアップしようとしていますので、製品の改良によって、これらの特性は予告なく変更されることがあります。



富士写真フイルム株式会社

プロフェッショナル写真部

東京本社 / 〒106-8620	東京都港区西麻布 2-26-30	TEL 東京 (03) 3406-2094
大阪支社 / 〒541-0051	大阪市中央区備後町 3-5-11	TEL 大阪 (06) 6205-6470
札幌営業所 / 〒060-0002	札幌市中央区北 2 条西 4-2 札幌三井ビル別館 3F	TEL 札幌 (011) 241-7164
仙台営業所 / 〒980-0811	仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービル 7F	TEL 仙台 (022) 265-2121
名古屋営業所 / 〒460-0008	名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル 11F	TEL 名古屋 (052) 203-5261
広島営業所 / 〒732-0816	広島市南区比治山本町 16-35 広島産業文化センター 11F	TEL 広島 (082) 256-3311
福岡営業所 / 〒812-0018	福岡市博多区住吉 3-1-1	TEL 福岡 (092) 281-0231